

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2012-3760(P2012-3760A)

【公開日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-130740(P2011-130740)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

B 41 J 29/42 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 D

G 06 F 3/12 K

B 41 J 29/38 Z

B 41 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月2日(2014.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷ジョブの選択が環境的に通知されることを促進する方法であって、

プロセッサが、ネットワークプリンタ群のそれぞれに状態を割り当てるステップであって、運用プリンタの該状態は、プリンタを少なくとも活動状態、スリープ状態、および立ち上げ状態のうちの1つであるとして表すステップと、

ワークステーションで印刷ジョブがユーザにより選択されたとき、印刷のための印刷対象の提案より前にユーザに表示するための前記ワークステーションのグラフィック・ユーザ・インターフェースへ前記割り当てられた状態を与え、印刷ジョブを印刷するプリンタの選択用に、前記ネットワークプリンタ群のうちのユーザが選択可能な複数のプリンタの状態をユーザが比較することを可能にするステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記状態を割り当てるステップは、限界遅延量を確立するステップと、現在はスリープ状態のプリンタが、前記限界遅延量が満了する前に立ち上げを行うと期待される場合に、前記プリンタに立ち上げ状態を割り当てるステップとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記限界遅延量は、前記ユーザが先行して受け入れた遅延時間に基づく、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記状態を割り当てるステップは、最大遅延量を確立するステップと、現在はスリープ状態のプリンタが、前記最大遅延量が満了する前に立ち上げを行うと期待されない場合に、前記プリンタにスリープ状態を割り当てるステップとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

さらに、各プリンタ状態に対応して、該状態を割り当たられたプリンタと関連付けて、前記グラフィック・ユーザ・インターフェース上にグラフィック的に表示可能なアイコン

を与えるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。